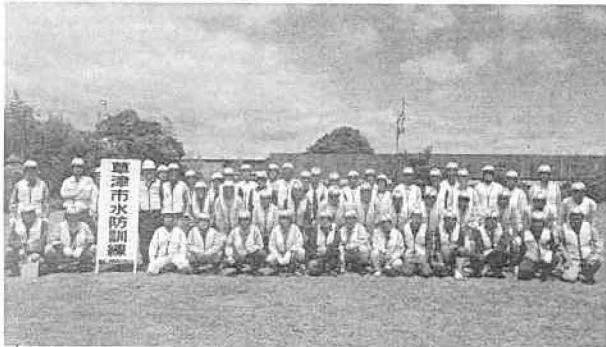


# 水害未然防止・軽減へ

## NPO草津市水防訓練に参加



草津市水防訓練  
に参加したNPO  
草津市内業者  
会の会員ら

草津市を拠点とする建設関連事業者でつくる特定非営利活動法人「草津の安全・福祉・災害救援活動を推進する市内業者会」（略称「NPO法人草津市内業者会・理事長 森川守（株）千商代表取

締役）は先月28日、草津市の草津川防災ステーションで行われた「平成29年度草津市水防訓練」に参加した。草津市水防訓練（主催 草津市、主管 草津市消防団、県南部土木事務所、湖南広域消防局西消防署・南消防署）は、本格的な梅雨シーズンを迎え水害の未然防止と軽減を図り、市民生活の安心を確保するため開催。

NPO草津からは森川会長を筆頭に過去最高の53名が参加。全員が揃いの黄色いNPOベストと活動服、ヘルメットを着用し、消防団と消防署員、市職員らとの連携のもと、水害の事態に備え的確に対応できる水防技術・知識の習得・向上を図るための土のう作り・

運搬と水防工法の訓練にあたった。

当日はNPO草津に加え消防団員、消防署員、市職員から成る総勢285名の参加者を前に、橋川渉草津市長らが激励のあいさつを行い訓練がスタート。第1部訓練では説明を受け、約1500袋の土のう作りを実施。第2部訓練では水防工法の作業工程の説明の後、3班に分かれ改良積土のう工・積土のう工と釜段工を実践訓練。作業完了後は市長や消防団長、西・南消防署長、危機管理監・技監、建設部長らによる工法出来栄確認も行われた。訓練終了後は使用した土のうを各消防団、備蓄用土のう置き場へ運搬し、いざという時の備えとした。